

大念佛

No.101

発行/融通念佛宗
総本山 大念佛寺
大阪市平野区平野上町1-7-26
TEL.06-6791-0026



このQRコードで
大念佛寺にアクセスできます。

大念佛寺 で 検索
<https://www.dainenbutsuji.com/>

題字：融通念佛宗 管長 吉村暲英

謹賀新年

融通念佛宗管長 吉村暲英

常念仏常懺悔

大源山六十巻 暲英



我昔所造諸惡業
皆由無始貪瞋癡
從身語意之所生
一切我今皆懺悔

我、昔より造れる諸の悪業は、
皆、無始の貪・瞋・癡による
身・語・意より生ずるところなり。
一切われ今、皆懺悔したてまつる。

この懺悔文は、多少なりとも
も仏さまの教えに縁のある人
なら、誰もが知っている御文

である。懺悔とは、造悪の罪過を悔い改めること。罪の許しを請うことである。初期仏教教団では、発露懺悔といって、自己の犯した罪過を長老比丘（指導僧）に包み隠さず告白する方法が用いられた。この儀式は半月ごとに行われた。これを「布薩」という。これは実に理に叶った方法である。なぜなら人前で己の罪過を告白すれば、同じあやまちを二度繰り返すことはできないの

である。令和の現在も仏の教えは生きていく。私たちも、自分のあやまちに気が付けば、素直に謝り詫びることが大切だ。懺悔は受戒をはじめ、日々の勤行でも最初にこれを称え、きれいな心で仏祖（仏さま・ご先祖さま）を礼拝する。この習慣が悔過法要につながり、観音悔過、阿弥陀悔過、薬師悔過、吉祥悔過等、太古の昔から盛んであった。本宗末寺で修されているものに「仏名

会」がある。これは過去、現在、未来にわたる三千の仏さまに懺悔する奥床しい法要である。他人の欠点や短所は目に付くが、自分のことは棚上げになりがちである。懺悔は、わが身、わが言葉、わが心から出る一切の悪業にきびしい反省の目を向けることが大切なのである。それと共に私たちが知らず知らずの間に造っている無意識の悪も見逃してはいけないのである。

懺悔することによって心が洗い清められる徳がある。「罪障は霜露のごとく、慧日よく消除す」と経文に説かれている。「常念仏 常懺悔」
古人はよくこの言葉を口にし、念仏修行に励んだものである。私たちがまた、令和七年の新春を迎えることができたのは無上の喜びである。この言葉をかみしめ、一年の出発点としたいものである。

上棟式



十月十七日、大念佛寺本堂にて上棟式が執り行われました。上棟式というのは、棟上げと呼ばれる建物の基本構造の完成を祝う式です。



当日は吉村管長猥下の導師のもと、厳かに式典が行われました。本堂を取り囲む巨大な足場の上

に祭壇が生まれ、屋根の上にはご本尊が安置され、棟札がお祀りされています。ご本尊の御前にて表白文が



読み上げられ、勤行ののち、工事に関わられた方々が棟札を特製の木箱に納められました。ここまで檀信徒、有縁の方々のお力により造営にかかることができたことをご本尊にご奉告されました。

また表白文の中に「宮殿既に成って天上に輝き仏事方に映じて宝蓋の中に現せんことを」と

あり、仏さまの御教えが久しく世にあって人々を利樂すること祈られました。そして浄財を喜捨された諸々の檀信徒の福寿増進、意願満足を祈られました。さてこの上棟式において大切なのが「棟札」という御札です。棟札には、建設の行われた年月日、また祈願文が記述されます。

天下和順 日月清明 風雨以時

災厲不起

奉 令和の本堂大改修 仏日増輝

法輪常転

国豊民安 兵戈無用 崇徳興仁

務修礼讓

そして工事に携わった方々の名前も記されます。日時や事実を後世に伝えるのは勿論のこと、

さらには携わった人々の想いや願いも、後の世にまで永らく伝えられることでしょう。再建された昭和十三年、修復がなされた平成十二年の棟札にも、多くの方の名前が記されており、当時の人々の思いが改めて伝わります。

今回の工事では新たに二枚の棟札を納めています。一つは本堂大改修の棟札。その大きさはおよそ二メートル近くにもなる、とても大きな物です。もう一つは山門扉修理の棟札です。あわせて作られた木箱にいれ、大屋根に納められます。

篤志寄付、写仏・写経の案内

檀信徒の皆さまには、日頃よりご本山へ何かとご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございます。先年より本堂の大改修工事が始まり、皆さまの温かいご支援のもと令和七年秋の完成を目指して、現在順調に工事が進んでおります。

また、大改修に向けての写仏、写経も広くお願い致しております。そして、中祖法明上人が自ら勤進した名帳を本堂の瑠璃壇に納めたという故事に倣い、皆様からの写仏並びに写経は本堂の完成後に、本尊様の上、宮殿の天井にお供えさせていただきます。御案内申し上げます。

令和八年の新春を迎える頃には皆さまの眼前に地上百尺を誇る大御堂がその威容を現していることでしょう。それに伴い令和八年には本堂の落慶法要が、吉村暉英管長猥下のもとで盛大に執り行われることとなります。現在、そちらに向けても随時準備進行中であります。

皆さまの描かれた仏様、筆写されたお経が末永く本山のご本堂の中にお供えされ、この何百年と残っていくことを考えると、なんとロマンティックなことでしょう。今この時を外しては一生出会えることのない仏縁をどうかご自身の良縁として下さいますようお願い申し上げます。

現在、総本山では本堂大改修

現在、総本山では本堂大改修

融通念仏ゆかりの地 浄土宗大本山清浄華院

清浄華院は浄土宗八総大本山のうちの一つで、平安時代の貞観二年（八〇〇）に清和天皇の勅願により慈覚大師円仁によって御所内に創建された禁裏道場がその始まりとされています。円・密・浄・戒の四宗兼学の道場として、高僧を呼び集めて修学させ、また、鎮護国家の祈祷をせしめたと伝わっています。その名は浄土に咲くハスの花のように清らかな修行ができる場所、という意味を込めて、清浄華院と名づけられたそうです。



承安五年（一一七五）法然上人は比叡山を去って東山吉水に庵を結び、専修念仏の教えを説いていました。その名聲が後白河法皇に届き、法皇は法然上人を御所内の清浄華院に招いて教えを請いました。後に高倉・後鳥羽天皇も教えを受け、法然上人はこの三天皇に戒を授けられました。この功績により清浄華院は法然上人に与えられ、以後浄土宗寺院となりました。天正年間になって豊臣秀吉の京都改造により御所とともに現在地に移転されました。

また、『勅願所清浄華院實録』には清浄華院第八世恵鎮坊敬法上人、應永七年、病に伏して、いよいよ死期が近くなり、門人が集って看侍し、念死念仏の心行の厳重な中、高弟の良如と咸阿に融通念仏の妙法を伝え、末代に弘め伝えるべき旨を丁寧託されました。同七年正月、飲食は日に減り、病状は次第に重くなるのに、専心念仏はますます盛んになり、臨終の時は、端坐合掌し、両親指の間に『良忍上人相傳放光の阿弥陀経』を挟み頂戴し、称号数百返お称えし、眠るが如く坐化（坐ったまま亡くなる）されました。息絶えた後も唇が動いていたと伝わっています。

また、『勅願所清浄華院實録』には清浄華院第八世恵鎮坊敬法上人、應永七年、病に伏して、いよいよ死期が近くなり、門人が集って看侍し、念死念仏の心行の厳重な中、高弟の良如と咸阿に融通念仏の妙法を伝え、末代に弘め伝えるべき旨を丁寧託されました。同七年正月、飲食は日に減り、病状は次第に重くなるのに、専心念仏はますます盛んになり、臨終の時は、端坐合掌し、両親指の間に『良忍上人相傳放光の阿弥陀経』を挟み頂戴し、称号数百返お称えし、眠るが如く坐化（坐ったまま亡くなる）されました。息絶えた後も唇が動いていたと伝わっています。

『良忍上人相傳放光の阿弥陀経』とは良忍上人が出離生死衆生済度の為に叡山無動寺の本尊に千日参籠して満願の御、融通念仏を授け其時仏恩酬報の為に一字三礼の阿弥陀経を書写し、心願を重複されました。故に此の御経から毎度大光を放つことがあったそうです。是を伝えて大原に収め毎事護念の利益多く、称して『放光の阿弥陀経』といわれたそうです。また、清浄華院には、良忍上人の袈裟も現存しており、円頓戒伝授の時に使用したのではないかとされています。



この度、総本山大念仏寺では、平成十八年に作製した御回在の伏鉦が、永年のお回りの末に金属疲労で音割れが生じてしまい、現在は西村左近宗春（一六四二〜？）作とされる河内御回在で使用されていた鉦で御回在を執行しています。しかし、この鉦も大変古く、新しい伏鉦の新調が急務となり、大念仏寺では富山県高岡市の株式会社平和合金にご縁を頂き、

令和版融通声明集の刊行について

声明という言葉は、今では仏教音楽として慣れ親しまれており、お寺での法要、ご先祖様の法事や舞台に於いて僧侶により披露されるものなど身近に声明を耳にする機会に恵まれます。

インドで仏教が興ったころは、僧侶が修行するような場所では音楽はおおよそ禁じられていたそうです。音楽のようなものは人の感覚を刺激し、欲望をそそるものとして考えられていたからです。経典に旋律（節）を付けて唱えることを唄または梵唄と呼びました。仏教団の規則や作法などが書かれた書物の中には、釈尊が梵唄を奨めたと言われたものも



御回在伏鉦製造式

伏鉦を三口新規製造する運びとなりました。高岡銅器は江戸のはじめ、加賀藩の二代目藩主であった前田利長が、一六一一年に高岡の新たな産業として大阪河内丹南より七人の鑄物師を招いて鑄物工場をひらかせたのが始まりとされ、現在は銅器づくりで日本一のシェアを誇る「鑄物の町」として知られています。

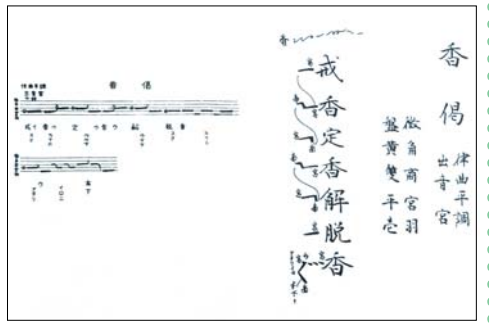
の鑄型に一二〇度〜一三〇〇度の湯（溶かした金属）を流し込むのですが、この湯は比重が水の九倍もあり、そのうえ高温という条件で、流し込む作業は全部上手くいくことはなく、今回も五個用意した鑄型もはじめて二個は底が割れて湯が流れ出してしまいました。さいわいにも後の三個は鑄型の周りを補強し、無事に最後まで流し込むことができました。



この度、総本山大念仏寺では、平成十八年に作製した御回在の伏鉦が、永年のお回りの末に金属疲労で音割れが生じてしまい、現在は西村左近宗春（一六四二〜？）作とされる河内御回在で使用されていた鉦で御回在を執行しています。しかし、この鉦も大変古く、新しい伏鉦の新調が急務となり、大念仏寺では富山県高岡市の株式会社平和合金にご縁を頂き、

令和六年十一月六日（水）天気予報では雨の心配もありましたが、好天に恵まれ、株式会社平和合金にて、法務部長を導師に役僧一名、本山編集委員二名、平和合金会長 藤田益一氏 部長 佐藤新一氏 平和合金関係者の皆様参列のもと、読経の中「鉦鼓鑄型銅入れ」が執り行われました。砂の上に置いた、セラミック

「仏法興隆 回在円満 寺檀和合 法令久住 利益人天」と「株式会社平和合金社運隆昌 年々相続 意願満足 関係諸人 家内安全 身体堅固 如来大慈悲仏天加護」の祈願文を奉読し、無事、三口の鑄造が終りました。



天台声明は平安時代の承知十四年（八四七）に唐から帰国した慈覚大師円仁上人が中国五台山の声明を伝えたのが始まりとされています。比叡山を中心に声明が広まり、円仁上人以来の声明を良忍上人が統一したこと、今でも良忍上人は天台声明の中興の祖として仰がれています。良忍上人を開祖とする融通念仏宗

では、開祖からの声明を大切にしながら、市井（庶民や大衆）の中で発展した声明が加わり、現在に伝えられています。それらの声明の伝承の仕方は、専ら口伝と言われ、師匠から弟子へ、弟子からその弟子へと伝えられて来ました。この度、その伝承に必要不可欠である声明集の令和版経本が刊行されました。声明の基礎となる墨譜（覚書）と音楽的要素を加えた五線譜を並記し、僧侶自身の教科書と後進の指導書となるような形に仕上げられています。融通声明のより一層の技術向上が期待されます。今後、融通声明が一人でも多くの方の馴染みとなり、心の安らぎとなることを望みつつ、関係各位の研鑽に寄与出来るものとなることを願ってやみません。

三重県名張市 名張 宗泰寺

末寺巡礼

名張市の旧市街、元町に建つ宗泰寺は三重県では唯一の融通念佛宗寺院であり、また本宗寺院では最も東端に位置する。

奈良県宇陀市にある宗祐寺の寺伝によれば宗祐上人の弟子、宗泰が天正十年（一五八二）名張郡黒田に堂宇を営み、宗泰寺と号したのがはじまりとされている。黒田地内の初瀬街道と水路が交わる付近の畑地には今でも「宗泰寺屋敷」の名が残っている。又、当寺の過去帳によれば、後の時代（一七世紀初め頃とされる）に現在の地に移した亮山が開山とされている。



鋏傷如来

当初の建物は宝永八年（一七一）の「名張の大焼け」に罹災したが直後の正徳年間（一七一〜一七一六）に第四世受玄により本堂と山門が再建された。尚、現在の本堂は昭和四十年に落成されたものである。

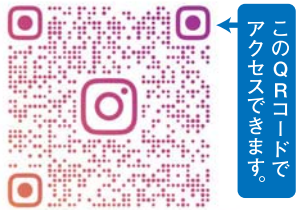


十一尊天得如来立像

本尊は本宗でも数少ない「十一尊天得如来立像」である。又、境内に建つ位牌堂には本尊として「鋏傷如来」といわれる阿彌陀如来立像が安置されている。「背傷如来」ともいい、以前は星川村阿彌陀寺の本尊として祀られていたが青蓮寺池の決壊で同寺が流出した時、本尊も同様に流され、相楽の田の中に埋没していたところ、後日に百姓が耕作中に掘り当て、同村大念寺の本尊として安置されたが大正八年（一九一九）同寺廃寺の際、宗泰寺が譲り受けた。掘り当てた時に付いた鋏の傷跡からこの名で呼ばれるようになったといわれる。本堂脇には揚柳観音が安置され、当寺は伊賀国準西国三十三ヶ所観音霊場の番外札所となっている。



大念佛寺 Instagram 始めました



Instagram
アクセスできます。

DAINENBUTSUJI.1117



フォローしてね

子ども念仏会に寄せて

九教区 道願寺内 辻本 寛

年々熱気を増す暑夏の中、今年も子ども念仏会が開催された。今回は初となる奈良市内の徳融寺にての開校となり、私たちスタッフ一同も多くの初めてを経験させていただいた。



これまでのバスによる移動から、鉄道と市内循環バスでの団体行動に。入浴も境内施設から近隣の銭湯へご厄介となり、山登りの代わりに奈良町探索に。念仏修行は奈良盆地独特の蒸し暑さの中であったが、子どもたちはしっかりと念仏を称えて礼拝で体を動かしていた。

ならまち探索では「からくりおもちゃ館」での昔おもちゃの作成とふれあいに、実に生き生きとした様子だった。

近頃、大阪をはなれて、大学の同窓生のお寺に親御さんの法事やお葬式に加担したり、災害支援活動に参加したりと出かけることが多かった。子どもの頃に一度乗ったことがあるが、私は飛行機が苦手なので、電車か車
小径

話せば心も軽くなる

大阪仏教テレホン相談室

仏事相談、信仰相談、その他あらゆる人生相談を十宗派の僧侶がお受けします。

月曜日～金曜日（八月休）
でんわ 〇六（六九九九）九〇一〇 午後二時～五時迄

大念佛寺年中行事（二月～七月）について

「大念佛寺令和の本堂大改修」に伴い、皆様には大屋根銅板瓦の御寄進を数多く賜っており、厚く御礼申し上げます。

令和五年より本堂大改修に伴い、本堂で行っているすべての法要を瑞祥閣で執行しています。

ご不明な折は下記のお問い合わせまでご連絡ください。

年中行事ご案内

修正会(瑞祥閣)

一月一日(水・祝) 午前五時

国家安泰・五穀豊穰・万民豊樂を祈願して法要が修されます。

融通念仏会(瑞祥閣)

一月十六日(木) 午前十二時

ご一緒にお念仏を称えましょう。

百万遍会(大数珠くり)(瑞祥閣)

午後一時

外陣いっぱい張りめぐらされた数珠を、お念仏の声もろともに繰ります。身体堅固のお加持が受けられます。

寒行

二月三日(月)

午前九時三十分

本山僧侶が平野の町を鉦を打ち鳴らしながら托鉢します。

毘沙門天護摩供養

午前十時

大般若転読(瑞祥閣)

午後二時

元祖念法要(瑞祥閣)

二月二十六日(水) 午後一時

河内御回在御出光(瑞祥閣)

三月二日(月) 午前七時

再興念法要(瑞祥閣)

三月五日(水) 午後一時

写経奉納供養・筆供養(写経塚・筆塚)

三月二十日(月) 午後一時三十分

万部法要

五月一日(木)～五日(月・祝)

融通念仏会(瑞祥閣)

五月十六日(金) 午前十一時

百万遍会(大数珠くり)(瑞祥閣)

午後一時

東照大権現忌(霊明殿)
五月二十二日(木)

河内御回在御帰院(瑞祥閣)

五月二十九日(木) 午後三時頃

保管靈骨追善法要(楽邦殿)

六月二十一日(土)、二十二日(日) 午後二時

中祖念法要(瑞祥閣)

七月七日(月) 午後一時

鳥羽上皇忌(霊明殿)

七月十九日(土)

大念佛寺仏教講座(延喜殿三階)

毎月第二水曜日

午後二時～四時三十分

定例布教(日曜日の時は二十七日)

毎月二十六日 午後一時三十分

★写経のご案内

※日にち場所が変わりました

毎月十五日、午前九時三十分より午後三時まで、延喜殿三階にて写経(一巻千円)を行っております。

★納骨のご案内

午前九時三十分より午後四時まで年中無休で宗派は問わず納骨を受け付けています。

尚、納骨の際は、事前にお問い合わせ下さい。

●日程については、変更になる時もございます。

●お問い合わせ

大念佛寺宗務所

〇六―六七九一―〇二六

謹賀新年

法主 吉村 暉英
管長 田中 瑞修
宗務総長 沢田 善秀
教学部長 好野 良博
庶務部長 佐々木 智祥
財務部長

融通念佛宗総本山 大念佛寺